

# おさだ康秀 県政通信

KENSEI COMMUNICATION Vol.1

おさだ報告記

おさだ見聞記

オサダの議  
県政報告会

おさだは何をやっているのか？  
県議会での質疑応答は？  
おさだの県政活動をご報告します。



## おさだ報告記



### 同世代の方々の意見交換会

同世代の方々と福祉・雇用・観光・農水産業の問題について熱く意見交換をさせていただきました。貴重な声を政策に反映させて参りたいと思いました。



【県民の方々からのご要望を、しっかりと改善させていただきました。】

#### 錫山地域のご要望

県道20号線鹿児島加世田線の錫山トンネルから南さつま市に向かう登坂車線と道路白線が非常に見えにくいと錫山地域の方々から要望がありまして改善をさせていただきました。



#### 錦江台(笠松)のご要望

錦江台校区の笠松地域の方々から道路改良のご要望がありまして、改善をさせていただきました。



#### 西谷山(柳ヶ谷)のご要望

西谷山地域の柳ヶ谷町内の方々から急カーブにより見通しが悪いとの要望がありまして、道路白線の整備とポール設置を致しました。



#### 西谷山(七村)のご要望

西谷山校区の七村町内会の方々から永田川(七村橋周辺)の草伐採をご要望がありまして、写真では伐採されておりませんが、近い内に伐採予定であります。



## おさだ見聞記

様々な地域で様々な方々と交流し、県民の声を聞き現場を見る。おさだ康秀の見て聞いて感じた活動報告&見聞記、まずは一報。

### 種子島・屋久島 視察記

文教警察委員会で種子島・屋久島を視察させて頂き、意見交換をさせていただきました事を常任委員会でしっかりと議論しました。



### 錫山地域(谷山)県政報告会

錫山地域で県政報告会をさせていただきました。その後、意見交換をさせて頂き、多くの方々から貴重な意見とご要望を頂きました。



何かございましたら下記まで、どうぞお気軽にご連絡下さいませ。



県議会議員

# おさだ康秀

事務所

〒891-0116 鹿児島市上福元町 3930

TEL.099-266-0321 FAX.099-296-1214

【ホームページ】 [osadayasuhide.com](http://osadayasuhide.com)

【アメーバブログ】 <http://ameblo.jp/yasuhide-osada/>

【facebook】 <https://www.facebook.com/yasuhide.osada.7>

【主な役職】 文教警察委員会 副委員長  
地方創生総合戦略特別委員

# オサダの議

## 平成27年第2回県議会定例会 一般質問に登壇させて頂きました。

### 1 身近でオープンな県政について

#### 質問の趣旨

知事と語る会を直近3年間で、24年度1回、25年度、26年度それぞれ2回しか語る会を実施されておりませんが、知事就任時の1期目の4年間は、42回、2期目は10回、3期目は3年間で7回であります。

オープンな県政の展開を掲げている割には、最近では非常に回数が少ないと考えますが回数を増やす考えはないのか。また、今後どのような形で展開を考えているのかを問い質しました。

#### 伊藤知事の答弁

「知事と語る会」は、県民との交流という点で直接県の各地へ出向き、県民のご意見を聞き取ることができる重要な機会の一つであります。今後は、今後ともその機会の確保に努めたいと考えているところであります。また、地域

リーダーとの意見交換や地域別、分野別の開催など様々な形式での展開を図って参ります。

#### オサダの議

私の質問の趣旨は、伊藤知事は初当選当初から「身近な県政」を基本方針として打ち出され、その代表的施策である語る会を開催されてこられました。その回数が減少しており、県民と向き合う姿勢に変化が生じたのでは危惧したからでした。身近でオープンな県政実現のために、直接対話こそが重要。県民とのふれあう事で心が伝わりますので、知事には積極的に語る会を開催して頂きたいと考えます。

### 2 人口減少における税収減について

#### 質問の趣旨

自主財源の確保について本県の行政需要は、社会福祉関連の分野を中心に、今後も扶助費の増加が年々、予測される。このままでは、税収減による財政悪化が懸念される。このままでは、税収減による財政悪化が懸念される。このままでは、税収減による財政悪化が懸念される。

#### 県民生活局長の答弁

子ども・子育て支援体制については、今後とも十分な周知・広報活動を行うことを考えております。また、待機児童の問題については、国の「待機児童解消加速化プラン」に基づき平成29年度末までに1150名の定員増を図る事としております。そして、人材確保については、潜在保育士の復帰支援、アンケート調査を実施する事としており、更に定員割れの保育所や保育料滞納、放課後児童クラブの問題については、関係市町村と連携して、今後とも必要な対応を行うところであります。

#### オサダの議

子ども・子育て支援のためには、子どもを産み育てやすい環境づくりが大切であり、そのためには、保育所等の環境整備を図らなければならない。環境整備には、言葉でもありません。しかしながら、「ヒトがあつてハコあり」つまり、十分な処遇改善を図り人材を育成する事が人材確保にも繋がります。それが、未来への子ども達への素晴らしい保育支援に繋がると考えます。処遇改

人口減少しても、歳出を減らすことは容易でないと考えます。人口減少の中での、自主財源確保が重要な課題となると考えますが、その事を、どのように受け止めており、また、どのような取り組みをされているのかを問い質しました。

#### 総務部長の答弁

県からは自主財源確保のため①企業誘致、新たな産業おこしに取り組み、②鹿児島よかとこ移住交流促進事業など、新しい人の流れを作る施策を推進する事としております。また③定住人口の減少を、交流人口の増加で補うことも必要であると考えておりまして、外国人観光客の受け入れ態勢の充実などにも努めているところであります。

#### オサダの議

少子高齢化対策や、定住促進対策など将来の人口減少に備える施策も必要ですが、県税収入も減少し、しか

### 4 鹿児島市南部地区の問題について

#### 質問の趣旨

指宿スカイラインの、谷山インターから瀬田インターまでの2期区間の、無料化については、山田インターのETC設置については、我が会派の代表質問で、谷山インターから瀬田区間の約30カ所の、急カーブ区間、改良また、約40カ所の法面の対策を、検討すると、同時に、ETC設置につきましては管理システムの検討設置を進めている。料金徴収期間を25年間延伸すると土木部長の答弁がありました。



も、県民所得も全国42位と低い本県であるために、地元中小企業への支援と育成、企業誘致、そして観光振興を図り、交流人口の増加を図る事が税収増に繋がると考えます。喫緊の対策こそ重要で、私はそれが交流人口の増加であると考えています。観光資源を整備充実させ、新たな観光資源を創出し、外国人含む観光客を増加させるこそが、人口減少下での税収対策の即効薬であると考えます。



ので、料金の減額を強く要望させて頂きました。通行回数券販売所の拡充と広報について問い質しました。

#### 土木部長の答弁

指宿スカイライン道路の利用促進につきましては、通行回数券の購入しやすくする事は有効な手段と考えており、県としても通行回数券の販売所を増やす事を道路公社に働きかけて参りたいと考えております。

#### オサダの議

通行回数券販売所の拡充や広報については前向きな答弁を頂きましたが、やはり谷山インターから瀬田インターまでの区間は利用者数が毎年減少しております。1日の交通平均数、直近3年間で23年度は、619台数、24年度は、554台数、25年度は、499台数、年々減少しております。もちろん、収入も右肩下がりであります。従いまして、今すぐに無料化が難しいのであれば料金の減額をして頂きたいと考えます。

### 3 子ども・子育て支援につ

#### 質問の趣旨

現場から複雑で分かりにくいとの声が多い、今年4月から施行されました、子ども・子育て支援制度について、どのような周知をされているのかを問い質しました。

その他②待機児童の問題③各市町村における、定員割れの保育所への支援について④保育所の耐震化について⑤障害児が保育所利用がしやすい環境整備について⑥人材確保及び職員処遇改善について⑦1億2千3百万円あまりとされる保育料の滞納問題について最後に共働き世帯を中心に、必要性が高まっている放課後児童クラブについて、県と市町村の連携

